

0300

(限 内)

海軍公報

(部内限) 第二千七百三十五號

海軍大臣官房

昭和十二年十月八日(金)

○令 達

官房第五一三七號 昭和十一年四月廿七日
 雇傭人又ハ工員ノ代員トシテ雇傭シタル人夫ニシテ
 今又事變ニ關シ召集セラレタルモノハ召集中ハ之ヲ解
 傭セズ本年官房第四〇七七號ノ規定ニ準ジ各雇傭人
 又ハ工員ノ例ニ依リ賃錢ノ補給ヲ爲スコトヲ得
 本令ハ昭和十二年七月十一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用
 ス

昭和十二年十月八日

海 軍 大 臣

○通 牒

經契第三號ノ一三九三
 昭和十二年十月一日
 海軍省經理局長
 關係契約擔任官殿

海軍公報(部内限) 第二千七百三十五號

昭和十二年十月八日

九六七

復水器用アルブラック管單價協定ノ件通知
 昭和拾年四月壹日附經契第參號ノ五貳參通知首題ニ關
 スル追書ノ件左ノ通

一、期 間

自昭和拾貳年拾月壹日
 至昭和拾貳年拾貳月參拾壹日

一、價 格

外徑壹六耗 厚壹・貳耗ノモノ
 壹貳ニ付 金貳圓〇貳錢
 外徑壹〇耗 厚壹・〇耗ノモノ
 壹貳ニ付 金貳圓拾六錢

其他從前通

經契第三號ノ一三九四
 昭和十二年十月一日
 海軍省經理局長
 關係契約擔任官殿

復水器用アルミプラス管單價協定ノ件通知
昭和拾貳年四月壹日附經契第參號ノ五八壹通知首題ニ
關スル追書ノ件左ノ通

一、期 間

自昭和拾貳年拾月壹日
至昭和拾貳年拾貳月參拾壹日

一、價 格

外徑壹六耗 厚壹・貳耗 長五米以下ノモノ

壹貳ニ付 金貳圓〇貳錢

其他從前通

〇 辭 令

上海へ出張ヲ命ス(附海軍省) 筆 生 山中麟之助

第五十三號驅潛艇審議委員ヲ命ス 海軍技師 今村 嘉一郎(艦本監)

海軍機關中佐 長島 久之介

第五十三號驅潛艇審議委員ヲ免ス(以上附海軍艦政本部)

〇 雜 款

〇 旗艦變更

第三航空戰隊司令官ハ昨七日旗艦ヲ能登呂ニ變更セリ

〇 司令驅逐艦變更

第二十九驅逐隊司令ハ九月二十七日司令驅逐艦ヲ一時
疾風ヨリ追風ニ變更セリ

〇 司令水雷艇變更

第二十一水雷隊司令ハ九月二十四日司令水雷艇ヲ二時
千鳥ヨリ眞鶴ニ變更シ、本月一日千鳥ニ復歸セリ

〇 郵便物發送先

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、軍艦陸奥、長門、
日向、第三戰隊司令部、軍艦霧島、榛名、大井、嚴島、
第二十四驅逐隊(山風、海風、江風、涼風)、驅逐艦
矢風、特務艦攝津宛

十月 十日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保
其ノ後ハ 高知縣宿毛

(電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ)

○艦船所在

印ハハホレ
指定ヲ要セズ

○十月八日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、那珂▲、阿武隈▲、▽山城
沖風▲、峯風▲、▽羽風、秋風
伊七▲、呂五八▲

富士▲、尻矢、洲崎

(鈴谷)▲、(劍埼)▲、(高崎)▲

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九▲
▽伊二四、伊二三

【下田】

澤風

【大湊】

帆風▲
【函館】▽神風、野風、波風、沼風
大泊▲

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑、伊勢、
衣笠、青葉、▽球磨
夕顔、葛

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、▽呂三三、呂三四、伊五一、

▽伊五三、伊五四、▽伊五七、伊五六、

伊五八、伊七一

石廊

(熊野)▲、(蒼龍)▲、(千歲)▲

【大阪】

古鷹▲

(滿潮)▲、(山雲)▲

【神戸】▽伊七二▲、伊七三▲

(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【因島】▽薄▲、藤▲

【江田内】平戸、淺間

【木浦】▽伊二二、伊二一、伊五五

【舞鶴】吾妻▲

▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

伊五二

(大潮)▲

【佐世保】赤城▲、加古▲、長良、▽金剛、▽常磐

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、▽蓼▲

菱▲、蓬▲、朝潮、▽島風、灘風、沙風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六三、

呂六八、▽呂六七、呂六五、呂六六

▽伊五九、伊六〇

敷島▲、早瀬、襟裳

(夏雲)▲、(伊七四)▲

【寺島水道】▽陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、大井、殿島

▽山風、海風、江風、涼風

【長崎】三隈▲

【馬公】▽五十鈴

旗風▲、▽芙蓉

【基隆】▽曉、漣

【高雄】▽伊二、伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五

海軍公報(部内限) 第二千七百三十五號

昭和十二年十月八日

九六九

【鎮海】 柿
【旅順】 臘、菘

【塘沽】 葵
【大沽沖】 菊

【上海】 口出雲、▷安宅、八重山、熱海、比良、勢多、
鳥羽、二見、保津、堅田、嵯峨

【福州沖】 龍田
【厦門港外】 松風

【サイパン】 若竹、早苗
【パタゴニア】 磐手、八雲

【作業地】 ▷木曾、長鯨、▷神通、▷由良、名取、鬼怒、
▷川内、口高雄、摩耶、▷沖島、▷神威、白鷹、
▷足柄、羽黒、那智、▷北上、駒橋、鳥海、
▷迅鯨、▷妙高、勝力、▷龍驤、鳳翔、▷加賀、
多摩、▷夕張、能登呂、▷天龍

▷初雪、白雪、吹雪、▷天霧、夕霧、朝霧、
▷望月、菊月、夕月、三月月、▷夕立、村雨、
五月雨、春雨、▷時雨、有明、白露、夕暮、
▷初霜、子日、若葉、初春、▷夕風、朝風、
▷響、雷、電、▷疾風、追風、▷綾波、浦波、
磯波、敷波、曙、潮、吳竹、刈萱、朝顔、
狹霧、▷陸月、卯月、彌生、如月、▷文月、

【航海中】

長月、水無月、草月、▷葦、楡、春風、朝風、
矢風、夕風
▷伊六八、伊六九、伊七〇、▷伊六一、
伊六二、伊六四、▷伊六七、伊六六、
伊六五、伊六三
▷鴻、隼、鶴、鴨、▷雉、鷺、雁、▷千鳥、
初雁、友鶴、真鶴
▷掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
▷掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
掃一八
鳴戸、朝日、鶴見、室戸、間宮、隠戸、
知床、攝津、野島

佐多 (四日馬公發—徳山へ)
大鯨 (六日佐世保發—横須賀へ)
淀 (六日作業地—旅順へ)
春日 (七日横須賀發—三津濱へ)
太刀風 (八日小松島發—横須賀へ)

(號外九頁、辭令公報添)

0305

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少佐
泉 福次郎	島 忠三郎	中 村敏雄	岩 橋透	正 木生虎	相 澤達雄	根 來茂樹	諸 岡安一	扇 一登	井 上士郎	黒 瀬淳	安 久榮太郎	大 友文吉	勝 原維顯
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少佐
三 浦義四郎	塚 本朋一郎	大 河原肇	土 橋豪實	公 文惠章	田 ヶ原義太郎	木 下康夫	松 林元哉	蒔 田義郎	和 智恒藏	溝 口權七	山 田薫	堤 恭三	中 村二郎
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少佐
花 房博志	廣 川隆	柴 田源一	富 岡次郎	太 田良直治	沖 原秀也	本 介正義	吉 村巖	佐 藤豊三郎	中 村子之助	安 並正俊	菅 間良吉	椋 田實	池 田暎
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少佐
松 原瀧三郎	金 元好廣	澁 谷龍稗	猪 口力平	江 口穂積	佐 久間良也	矢 野實	石 城英夫	須 田佳三	岩 尾正次	久 保徳太郎	武 市文男	小 笠原章一	原 道男

海軍公報(部内限) 號外

二

0306

同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉	同	海軍大尉	同	同	同	海軍少佐
清永正治	今川光夫	原田唯彦	中村源三	中村友男	井上文刀	關口鑛造	堀川近江	西山四郎	大森潤一	華頂博信	柴田武雄	中島湊	池澤政幸	中村馨
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉
大谷武夫	日野虎雄	中村吉夫	森本義久	吾郷繁重	今井信彦	田中民至	佐部鶴吉	古川勇	近藤賢一	黒木亥吉郎	日暮朝	中鉢道男	友野有平	西田敬
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉
山下政雄	岡本信之	山口俊三	浦野三郎	藤木弘	玉利信藏	飯野忠男	高岡迪	田代昇	村上敏夫	今井守之	池内清一	石井稔	結城祐雄	西村徳太
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉
油谷市	太田守	島村和猪	渡邊一夫	萩野南海男	杉浦勇司	山下豊治	武田新太郎	鍋田美吉	益満行孝	中武満雄	尾崎隆	館上陸太	城戸保雄	益山重夫

海軍公報(部内限) 號外

三

0307

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉
三宅正之	山口一生	山下喜義	佐古加榮	岡崎佐平	釘宮正	高木正雄	澤島榮次郎	濱住芳久	兼本正二	關根英男	奥山正市	藤岡清孝	田中金守	船越政雄
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉
中山傳七	中館明正	福井陸雄	山下貞義	淵脇正熊	多田實	佐々木榮	左近佐久美	高橋達彦	荒井義一郎	郷家良男	浦田清之祐	吉永源	富田理吉	疋田外茂
同	同	同	同	同	同	海軍少尉	同	同	同	同	同	同	同	海軍中尉
篠原茂夫	波田利男	藤田秀範	音羽正彦	伏見博英	吉川猛夫	石丸義幸	阿部了夫	本田幸人	拔井次夫	末永勇	久保山重志	岩崎五郎	杉山忠嘉	岩淵悟郎
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少尉
小笠原博	齋藤明	佐藤定郎	伊達修	元久岩美	野村盛弘	久利耕三	木戸長三郎	千早猛彦	磯部慶二	長島博三郎	中村元夫	木佐貫良雄	井上一良	百武伸安

海軍公報 (部内限) 號外

四

0308

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少尉
伊藤博	後藤文二	佐藤精七	丸山幸平	中村直三	五十嵐邦男	鈴木正吉	島田喜興三	近藤文武	黒木俊思郎	園川大	伊吹正一	高橋忠夫	吉澤正元	三加茂隆久
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少尉
廣瀬榮助	内田一臣	大岡敬次	中井一夫	左村義之助	深井俊之助	吉井俊雄	秋元延浩	田中俊二	米田充平	川畑誠	吉田宗雄	坪正樹	大塚米治	坪田義明
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少尉
柴島吉三	齋藤信男	一富清太	山口三郎	新床太郎	赤井英之助	星野清三郎	川原利壽	川崎勝己	山口正夫	野原泰男	荒武宗義	淺野市郎	三澤忠雄	筑土龍男
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少尉
原口昇	簗島遠男	中村正衛	松村平太	山元正二	森田林次	安田清	太田壽双	河合民雄	倉兼義男	横田正治	谷井徳光	石塚榮	大野廣司	帆足工

海軍公報(部内限) 號外

五

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍少尉
松本松左巳	長藤季久土	齋藤勉	塚原清三	津田俊夫	森本秀雄	影山國秀	田崎正三	黒澤丈夫	淺輪桃三郎	二宮金儀	上杉一秋	小林道雄	山口光成	加藤清一
同	同	同	同	同	同	少海軍機關佐	同	同	同	同	同	同	同	海軍少尉
上田俊次	水元秋義	井ノ上嵩	奥本善行	萩原健二	磯部太郎	小山敏明	福田祐治	小屋守家	西勉	古田吉之	峯宏	渡邊正樹	伊藤敦夫	江崎隆之
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少海軍機關佐
瓜生總男	岡寅雄	三木榮助	鈴木俊郎	大崎行三	森本一男	阿部清	八島春清	森川敏人	中屋英一	中島宣一	深川總兵衛	宮田正巳	清水義喬	山本良材
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少海軍機關佐
村山孝治	本澤半三	松本弘	石清水明	松原重行	栗田政喜	大田清治	福谷英二	三戸文章	岡本利市	櫻井金藏	君嶋武彦	市青聖美	奥末廣	日高安壯

0310

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少海軍機關佐
岡田兵一郎	伊藤喜六	徳田徳男	石橋静男	和田五郎	西山虎一	鶴三七徳	吉田二郎	久保時朗	寺田虎男	竹谷慶次郎	村橋徳治	奈良太郎	奥田洋平	大條成徳
同	同	同	同	同	同	中海軍機關尉	同	同	大海軍機關尉	同	同	同	同	少海軍機關佐
新谷里美	志岐六郎	鈴木健士	遊橋辰雄	高野二郎	豊田祝三	古川尙志	伊藤莊美	内海信次	林清三	山川貞市	加藤武夫	渡邊正躬	則武市雄	石本恒人
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	中海軍機關尉
有松漸	入谷清明	高津信彦	松本三郎	南出茂二	橋口春香	譽田守	松崎實己	岩波強	坂本善輝	西村藤政	田中一夫	山下庸雄	飯川秀喜	倉持昌信
同	同	同	同	同	同	同	少海軍機關尉	同	同	同	同	同	同	中海軍機關尉
太田平八	建野三郎	渡邊惟信	阿野三郎	小住輝雄	藤井庄之助	蓮沼進	木崎忠雄	小菅清一	田村亀之進	満原徳次	多田新八	片岡正一	矢野良雄	檜柴重孝

海軍公報(内限部) 號外

七

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少海軍機關尉
河相 巍	松本 三郎	江尻 庄一郎	佐々木 滋	小長谷 睦治	加藤 靜治	萩原 行友	服部 照親	福田 英夫	松浦 慎一	中澤 信人	福岡 太	中田 良雄	大前 勝三	島森 孝一
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少海軍機關尉
伊藤 房雄	清野 泰之	新保 彊	橋本 虎男	安藤 貢	岡武 知巳	星子 稻夫	福田 榮治	吉野 伊太郎	池部 宗保	金子 定吉	松原 馨一	繁田 實成	中村 重泰	東海 千尋
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	少海軍軍醫佐	同	同	同	中海軍軍醫佐
中原 新	佐々木 佳一	石川 鐵三郎	野中 彌六	立川 勇	村上 三郎	河合 榮	榎本 伸二	石田 敬基	福原 文雄	首藤 三八	山下 清	長置 盛保	川田 理	柴田 龍三
同	同	同	少海軍主計尉	同	中海軍主計尉	同	同	同	同	同	同	少海軍主計佐	同	少海軍軍醫佐
内村 定壽	中村 寒三郎	大西 清見	小笠原 正義	對馬 進	淺原 精次	鷺野 武	清水 惟太	吉田 正敏	長野 正壽	山口 範次郎	窪村 武志	廣布 金次郎	勝山 晉	山本 秀雄

0312

海軍公報(部内限) 號外

同	同	同	同	少海軍造兵佐	中海軍造兵佐	少海軍造機佐	同	同	同	同	同	同	同	同	少海軍造船佐
山崎信次	近藤俊雄	久山多美男	奥明	杉岡師男	坂田守之	早坂浩一郎	前田龍男	松本喜太郎	根木雄一郎	廣幡増彌	大藪大輔	小堀龍造	齋藤貫二郎	山本正敏	
															少海軍造兵佐
															濱崎諒

九

(限 内 部)

0313

海軍公報

(部内限) 第二千七百三十六號

昭和十二年十月九日(土)

海軍大臣官房

○令 達

官房機密第三六五五號ノ三

本月官房機密第三六五五號臨時軍事費整理規程中左ノ
通改正ス

昭和十二年十月五日

海 軍 大 臣

第二條第十七號一時賜金中(一)ヲ左ノ如ク改ム

(一) 昭和二年勅令第五十七號ニ依ル一時賜金及昭和
十二年海軍省告示第十五號ニ依ル死歿者特別賜金

官房機密第一一號ノ四三

昭和十二年十月九日

海 軍 大 臣

各鎮守府司令長官、舞鶴要港部司令官
海軍大學校長、海軍兵學校校長
海軍機關學校校長、海軍經理學校校長
兵器簿ノ件通達

海軍公報(部内限) 第二千七百三十六號

昭和十二年十月九日

九七一

區分 品 名		數量	艦船部隊學校名	摘 要
(別表)				
各艦船部隊學校兵器簿砲術長主管ノ部中別表ノ通改正ス				
追加射表拔萃	各一冊	各一冊	艦隊、戰隊、戰艦、 一等巡洋艦、航 空母艦、潛水母艦、 海防艦、津、鎮守 府、要港部、防備 隊、海兵團、航空 隊、通信學校、水雷 學校、潛水學校、工 機學校、航海學校、 機關學校、經理學 校、技術研究所	射表用紙ノ アルモノハ 該用紙ニ其 ノ他ハ紙ニ 諸要具用 紙ノ諸要具 ニ追加用紙 ノ追加用紙
驅逐隊	各一冊	各一冊	驅逐隊	隊用机上射 撃演習機用 紙裏面ニ機 用紙トシテ 追加用紙
大學校、火藥廠	各二冊	各二冊	大學校、火藥廠	同上

各五冊	兵學校、砲術學校、 橫須賀及佐世保工 廠	射表用紙ニ 追加記入
一〇冊	吳工廠	
三冊	舞鶴工廠	

○辭令

(各通) 海軍政務次官 一宮房治郎
海軍中佐 藤間良

上海へ出張ヲ命ス(海軍省)

○雜款

○司令潜水艦變更
第七潜水隊司令ハ昨日司令潜水艦ヲ伊號第三潜水艦
ヨリ伊號第一潜水艦ニ變更セリ

...
...
...
...
...

...

...

...

...

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月九日午前十時調

【横須賀】

對馬▲、愛宕▲、那珂▲、阿武隈▲、大鯨、▽山城

沖風▲、峯風▲、▽羽風、秋風

伊七▲、呂五八▲

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲、呂五九▲

▽伊二四、伊二二

【館山】

澤風▲

【大湊】

帆風▲

【函館】

▽神風、野風、波風、沼風

大泊▲

【吳】

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑、伊勢、

衣笠、青葉、▽球磨

夕顔、菖

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、▽呂三三、呂三四、伊五一、

▽伊五三、伊五四、▽伊五七、伊五六、

伊五八、伊七一、▽伊二二、伊二一、

伊五五

石廊

(熊野)▲、(蒼龍)▲、(千歲)▲

【大坂】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲、(山雲)▲

▽伊七二、伊七三▲

(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

因島▽薄▲、藤▲

【江田内】 平戸、淺間

【徳山】 佐多

【舞鶴】 吾妻▲

▽白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

【佐世保】

伊五二

(大潮)▲ 赤城▲、加古▲、長良、▽金剛、▽常磐、

▽陸奥、長門、日向

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、菫▲、▽蓼▲、

菱▲、蓬▲、▽島風、灘風、汐風

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六三、

呂六八、▽呂六七、呂六五、呂六六、

敷島▲、早鞆、襟裳

(夏雲)▲、(伊七四)▲

【橘灣】

▽霧島、榛名、大井、殿島

【長崎】

▽山風、海風、江風、涼風

【馬公】

▽旗風▲、▽芙蓉

【高雄】

▽五十鈴

▽伊一、伊二、伊三、▽伊六、伊四、伊五

海軍公報(部内限) 第二千七百三十六號 昭和十二年十月九日

九七三

<p>【鎮海】柿</p> <p>【旅順】淀</p> <p>【塘沽】葵</p> <p>【大沽沖】菊</p> <p>【上海】出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、鳥羽、二見、保津、堅田、嵯峨、蓮、栗、梅</p> <p>【福州沖】龍田</p> <p>【厦門港外】松風</p> <p>【サイパン】膠州</p> <p>【パダピア】若竹、早苗</p> <p>【作業地】木曾、長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、川内、高雄、摩耶、沖島、白鷹、足柄、羽黒、那智、北上、駒橋、鳥海、迅鯨、妙高、勝力、龍驤、鳳翔、加賀、多摩、夕張、能登呂、神威、天龍</p> <p>初雪、白雪、吹雪、天霧、夕霧、朝霧、五月雨、春月、夕月、三月月、夕立、村雨、初霜、子日、若葉、初春、夕風、朝風、響、雷、電、疾風、追風、綾波、浦波、磯波、敷波、朧、曙、潮、吳竹、刈萱、朝顔、曉、漣、狹霧、睦月、卯月、彌生、</p>	<p>【航海中】</p> <p>春日 (七日横須賀發「三津濱」)</p> <p>太刀風 (八日小松島發「横須賀」)</p> <p>洲崎 (九日横須賀發「サイパン」)</p> <p>如月、文月、長月、水無月、皐月、葦、楡、春風、朝風、矢風、夕風、朝潮</p> <p>伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、伊六五、伊五九、伊六〇、伊六三</p> <p>鴻、隼、鶴、鴨、雉、鷲、雁、鳩、千鳥、初雁、友鶴、真鶴</p> <p>掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、掃一八</p> <p>鳴戸、朝日、鶴見、室戸、間宮、隠戸、知床、攝津、野島</p>
---	---

(號外四頁、辭令公報添)

0317

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十二年十月九日(土)

○ 牒 通

經契第三號ノ一三四〇

昭和拾貳年拾月壹日

海軍省 經理局長

關係各廳長殿

青寫真用紙購買合併契約ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ左記ノ通三菱製紙株式會社ト契約締結

致候條左ニ依リ處理相成度

記

一二契雜第壹四號

契 約 書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ青寫真用

紙(以下本品ト稱ス)購買ニ關シ供給者三菱製紙株式

會社代表取締役信貴英藏(以下乙ト稱ス)ト契約スル

コト左ノ如シ

第壹條 乙ハ昭和拾貳年拾月壹日以降昭和拾參年參月

參拾壹日ニ至ル期間甲若ハ海軍工廠及工作部、海軍航空廠、海軍軍需部、海軍建築部、海軍經理部(以下丙ト稱ス)ノ註文ニヨリ左記記載ノ單價ヲ以テ本品ヲ供給スルモノトス

品 名 單 價 (壹英听ニ付)

青寫真用紙 (申七九〇〇純) 壹八九

同 (申壹〇九〇純) 壹九〇

本單價中ニハ納入地迄ノ運賃其他納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ム

第貳條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第參條 甲若ハ丙ガ本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ寸法、規格、數量、納期、納入場所其他必要事項ヲ記載シタル註文書(様式甲)ヲ乙ニ送付ス

第四條 乙ハ前條ノ註文書ヲ受ケタルトキハ購買番號、單價、代價其他必要ナル事項ヲ記載シタル承諾

海軍公報 (部内限) 號外

書(様式乙)ヲ註文者ニ提出スルモノトス

第五條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領應ニ於テ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ合格ノ上之ガ引度ヲ受クルモノトス

第六條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ受領應ニ提出スルモノトス
分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルコトヲ得

第七條 官ニ納入シタル本品代價ハ前條ニ依リ代金請求書受領後拾五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂フモノトス

第八條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ本契約ニ因リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第九條 本契約ニ明掲ノ外ハ海軍契約規程並ニ同施行手續ニ依ルモノトス
右契約ヲ證スル爲メ本書貳通ヲ作り各自記名捺印シテ各共ノ壹通ヲ保有スルモノナリ

昭和拾貳年拾月壹日

海軍省經理局長 村上春一

(様式二百添)

東京市麴町區丸ノ内貳丁目六番地
供給者 三菱製紙株式會社
代表取締役 信 貴英藏

番 號

昭和 年 月 日

註文者

御 中

青 寫 眞 用 紙 註 文 書

様式甲 (美濃紙半葉)

買 購 番 號					納 期			
用 途					納 入 場 所			
寸 法			厚		數 量	單 價	代 價	
幅	長	捲 込	噸	又 量 枚 量				
計								
記 事								

(昭和十二年十月九日 公報(部内限) 號外別紙)

0319

番 號

昭 和 年 月 日

株 式 會 社

御 中

青 寫 眞 用 紙 御 註 文 承 諾 書

但シ納期ハ本表申出通御承認被下度願上候

様式乙(美濃紙半葉)

購買番號					納 期	指 定 申 出		
注文年月日					納入場所			
寸 法				厚		數 量	單 價	代 價
幅	長	捲 込	噸 ハ	量 枚	又 量			
計								
記 事								

0320

0321

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第二千七百三十七號

海軍大臣官房

昭和十二年十月十一日(月)

○令 達

官房機密第四一七一號
本年度海軍練習航空隊選修學生ハ之ヲ採用セズ

昭和十二年十月十一日

海軍大臣

○通 牒

軍務一第二三四號

昭和十二年十月十日

海軍省軍務局長

各廳長殿

軍機保護法施行ニ關スル件申進

改正軍機保護法ハ十月十日ヨリ之ヲ施行セラルルコト
ト相成候條別紙要領ニ依リ成ルベク速ニ各廳保管ニ係
ル圖書物件營造物又ハ軍施設ノ周圍ニ付所定ノ標識
ヲ爲ス等ノ處置ヲ講セラレ度

(別紙)

軍機保護法實施ニ關スル處置要領

一、軍機保護法第一條第二項ノ規定ニ依ル軍事上秘密
ヲ要スル圖書物件(海軍省令第二十八號軍機保護法
施行規則第一條參照)ニ對シテハ左ノ要領ニ依リ標
識ヲ附スルコト

(一) 圖書(文書、圖畫、映畫、「レコード」等以下同
シ)ノ標識ハ左ノ通りトス

軍機	從來ノ標識	改正標識	改正要領
極秘	軍機	軍機	共ノ儘トス
極秘	軍機	軍機	共ノ儘トス

現ニ極秘ノ標識アルモノハ同色ノ活字ヲ以テ軍機ノ一字ヲ加フノ形式、大小ヲ問ハサルモ明確ナルヲ要ス。

備考

(イ) 軍機保護法ニ所謂軍事上ノ秘密ニ非ザルモ受
領者及保管者以外ニ對シ嚴シク機密ヲ要スル圖書

海軍公報(部内限) 第二千七百三十七號

昭和十二年十月十一日

九七五

ニハ從來通り「極秘」ノ標識ヲ附ス
 (ロ) 海軍省令第二十八號軍機保護法施行規則施行
 前發行ニ係ル極秘書類ニシテ「軍極秘」ノ指定
 ヲ要スル圖書ハ發行廳ヨリ供給廳ニ通知スルコ
 ト

(二) 物件

能フ限リ圖書ノ場合ニ準ズ

二、軍機保護法第八條及第九條ニ依リ保護セラレベキ
 モノ(海軍省令第二十八號軍機保護法施行規則第二
 條及第三條參照)ニ對シテハ適當ナル方法(現場ニ
 柵ヲ設ケ又ハ適當ナル場所ニ境界線ヲ示ス地圖ヲ公
 示スル等)ニ依リ境界線ヲ明示スルト共ニ見易キ位
 置ニ適宜海軍省令第二十八號軍機保護法施行規則附
 圖第一ニ示ス標識ヲ設置スルコト

備考

防禦營造物、軍事施設ノ周圍地域ハ軍用地内ニ限
 ルモノニシテ右標識ハ周圍地域ノ境界ニ設置スル
 モノトス

三、軍機保護法第十二條第一項ノ規定ニ依ル水陸ノ形
 狀、施設物ノ狀況ノ測量又ハ空中高所ヨリノ撮影等
 ヲ禁止スル場所(海軍省令第二十八號軍機保護法施

行規則第五條參照)ニ對シテハ必要ニ依リ海軍省令
 第二十八號軍機保護法施行規則附圖第二ニ示ス標識
 ヲ設置スルコト

四、軍機保護法第十三條ノ規定ニ依ル演習又ハ實驗等
 ヲ行フ土地又ハ水面及其ノ周圍地域(海軍省令第二
 十八號軍機保護法施行規則第八條參照)ニ對シテハ
 該演習又ハ實驗ヲ爲ス者共ノ都度海軍省令第二十八
 號軍機保護法施行規則附圖第三ニ示ス標識ヲ設置ス
 ルコト

海人第一號ノ一二七

昭和十二年十月十一日

海軍省人事局長

海軍諸例
 則查載

各鎮守府參謀長殿

青年學校教練科教材配當及進度參考表中

改正ニ關スル件通牒

昭和十一年海人第一號ノ三青年學校課程修得者檢定ニ
 關スル件通牒ニ依ル別紙青年學校教練科教材配當及進
 度參考表ハ今回左記ノ通一部改正セラレ昭和十三年四
 月ヨリ施行ノコト相成候

記

一、基本教材欄中教練ニ於ケル各個教練ノ下

敬	不	行	右	半	折	射	突
禮	動	進	(左)向	(右)向	敷	擊	行
勢	姿	(步調止)	後向	後向	伏	ノ	進
		レ			セ	諸	間
					作	動	ノ
					作	作	動
							作
							擊

ニ改ム

一、教練中部隊教練ニ於ケル密集ノ部摘要欄ニ「執銃密集教練ハ主トシテ小銃編成ヲ以テ實施スルモノトス」ヲ加フ

一、教練中部隊教練ノ部ニ於ケル「疎開」欄ヲ「戰闘」欄ニ改メ同小隊ノ基本教材欄中「火線ノ構成及其ノ運動」ヲ「戰闘任務ノ附與及運動」ニ、同進度ニ於ケル第三年以上ノ欄中「横隊ヨリ疎開ノ方法(二線、一線)」ヲ「側面縦隊ヨリ疎開ノ方法(二線、三線)」ニ、「側面縦隊ヨリ疎開ノ方法」ヲ「横隊ヨリ疎開ノ方法」ニ、「火線ノ構成(火線ト援隊)」ヲ「戰闘任務ノ附與」ニ改ム

一、教練中軍事講話ノ下段欄中「陸軍平時團隊ノ配

置」ヲ「防空」ニ改ム

一、備考欄中

(一) 第二號中「旗信號、」ヲ削リ「地形ノ識別」ヲ「瓦斯防護」ニ、「十時間以内」ヲ「二十時間以内」ニ改ム

(二) 第四號中「步兵操典」ヲ「步兵操典草案」ニ改メ、「旗信號ハ陸軍所定ノ制式ニ」ヲ削ル

(三) 第六號中「其ノ他ノ教材中」ヲ「青年學校教授及訓練要目(體操科)等」ニ改ム

(四) 第二號ヲ第四號トシ以下順次繰下グ第一號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ

二 教練ハ小銃教練ニ就キ示スモノトス

本表ノ外部隊教練實施ノ爲高年ノ生徒若干名ニ對シ輕機關銃ニ就キ操法射擊姿勢及點射ノ概要ヲ、擲彈筒ニ就キ保持法、射擊姿勢、射擊ノ極メテ概要ヲ會得セシメ爾他ノ者ニ對シテハ其ノ概念ヲ説明スルモノトス

三 軍人ニ賜ハリタル勅諭ニ關シ機會ヲ求メテ之ヲ教育スルモノトス

(諸例則卷二 六八四ノ二頁参照)

海軍公報(部内限) 第二千七百三十七號 昭和十二年十月十二日 九七七

○ 辭 令

海軍造兵大尉 玉井 廉人(艦 本)
 軍艦三隈審議委員ヲ命ス
 海軍造兵中佐 堀 光 一
 軍艦三隈審議委員ヲ免ス(以上 海軍艦政本部)

○ 雜 款

○ 將旗移揚
 第四水雷戰隊司令官ハ昨日將旗ヲ電ニ、佐世保警備戰隊司令官ハ一昨九日將旗ヲ金剛ヨ朝潮ニ執テ移揚セリ

○ 郵便物發送先
 佐世保警備戰隊司令部(朝潮氣付)、驅逐艦朝潮、第二十八潜水隊宛
 當分ノ間 佐世保郵便局留置

特設水上機母艦衣笠丸宛
 十月十六日以後 佐世保郵便局氣付(軍事郵便)

○艦船所在

▲印ハハホホフ
指定ヲ要セズ

○十月十一日午前十時調

【横須賀】

對馬▲愛宕▲那珂▲阿武隈▲大鯨、▽山城

沖風▲峯風▲▽羽風、秋風

伊七▲呂五八▲

富士▲尻矢

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲呂五九▲

▽伊二四、伊二三

【館山】

澤風▲

【大湊】

帆風▲

【函館】

▽神風、野風、波風、沼風

大泊▲

【吳】

矢矧、韓崎▲比叡▲最上▲扶桑、伊勢、

衣笠、青葉、▽球磨

夕顔、葛

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲

呂二八▲▽呂三三、呂三四、伊五一、

▽伊五三、伊五四、▽伊五七、伊五六、

伊五八、伊七一、▽伊二二、伊二一、

伊五五

石廊、隱戸、室戸

(蒼龍)▲(千歲)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲(山雲)▲

▽伊七二、伊七三

(熊野)▲(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲

▽因島、▽薄▲藤▲

▽江田内、平戸、淺間

【三津濱】

春日

【舞鶴】

吾妻▲

【佐世保】

▽白雲▲東雲▲叢雲▲薄雲▲

伊五二

(大潮)▲

赤城▲加古▲長良、金剛、▽常磐、木曾

梨▲竹▲樞▲桃▲柳▲檜▲菫▲▽蓼▲

菱▲蓬▲灘風、汐風、夕風、矢風

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂三六▲

呂六一▲呂六二▲呂六四、▽呂六三、

呂六八、▽呂六七、呂六五、呂六六

敷島▲早瀬、襟裳、間宮、佐多、攝津

(夏雲)▲(伊七四)▲

【橋本】

大井

【富江】

▽電、▽響、雷

【長崎】

三隈▲

【馬公】

旗風▲▽夕風、朝風

【基隆】

狹霧

【高雄】

吳竹

海軍公報(部内限)第二千七百三十七號

昭和十二年十月十一日

九七九

【鎮海】榆

【旅順】淀

【塘沽】荻

【大沽沖】葵

【上海】菊

【福州沖】蓮、栗、梅

【廈門港外】鳥羽、二見、保津、堅田、嗟峨

【龍田】

【松風】

【若竹】

【早苗】

【膠州】

【サイパン】

【作業地】

長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、

川内、高雄、摩耶、沖島、白鷹、足柄、

羽黒、那智、北上、駒橋、鳥海、迅鯨、

妙高、勝力、龍驤、鳳翔、加賀、多摩、

夕張、能登呂、神威、天龍、五十鈴、

初雪、白雪、吹雪、天霧、夕霧、朝霧、

望月、菊月、夕月、三月月、夕立、村雨、

五月雨、春雨、時雨、有明、白露、夕暮、

初霜、子日、若葉、初春、疾風、追風、

綾波、浦波、磯波、敷波、朧、曙、潮、

芙蓉、刈萱、朝顔、曉、漣、睦月、卯月、

彌生、如月、文月、長月、水無月、皐月、

葦、柿、春風、朝風、朝潮、島風

【航海中】

磐手、八雲 (四日「バタビヤ」發—館山へ)

洲崎 (九日横須賀發—「サイパン」へ)

知床 (十日基隆發—佐世保へ)

陸奥、長門、日向 (十一日佐世保發—宿毛へ)

霧島、榛名 (十一日小濱發—宿毛へ)

嚴島 (十一日橘灣發—宿毛へ)

山風、海風、江風、涼風 (十一日橘灣發—宿毛へ)

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、
伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、
伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、
伊六五、伊五九、伊六〇、伊六三、
鴻、隼、鶴、鴨、雉、鷹、雁、鳩、千鳥、
初雁、友鶴、真鶴
掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
掃一八
鳴戸、朝日、鶴見、野島

(限 内 部)

0327

海軍公報

(部内限) 第二千七百三十八號

昭和十二年十月十二日(火)

海軍大臣官房

○ 辭令

上海へ出張ヲ命ス(註海軍省) 筆 生 入 佐 俊 雄

上海出張ヲ免シ上海駐在ヲ命ス 海軍大佐 寺岡 謹 平

南京駐在ヲ免シ上海駐在ヲ命ス 同 中 原 三 郎

漢口駐在ヲ免シ上海駐在ヲ命ス 海軍中佐 鎌 田 正 一

青島駐在ヲ免ス 同 田 中 穰

主トシテ旅順要港部ニ於テ服務スヘシ(以上註同) 海軍中佐 篠 田 勝 清

第二課勤務ヲ命ス(註海軍省軍務局) 海軍大學校教官兼海軍航海學校教官 海軍少佐 小 田 切 政 徳

主トシテ兼務廳ニ於テ服務セシメラル(註海軍大學校)

○ 雜 款

○ 將旗移揚
第一航空戰隊司令官ハ昨十一日將旗ヲ彌生ニ移揚セリ

○ 郵便物發送先

第一砲艦隊司令部、特設砲艦首里丸、長壽山丸、廬山丸、華山丸宛

自 今

追テ各艦分離行動多キヲ以テ當隊宛書類ハ全部各艦宛直送相成度

那智山丸宛

自 今

佐世保郵便局氣付

海軍公報(部内限) 第二千七百三十八號 昭和十二年十月十二日

九八一

○艦船所在

印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○十月十二日午前十時調

【横須賀】

對馬▲愛宕▲那珂▲阿武隈▲大鯨、▽山城
沖風▲峯風▲▽羽風、秋風

伊七▲呂五八▲

富士▲尻矢

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九▲

▽伊二四、伊二三

【館山】

澤風▲

【大湊】

▽神風、野風、波風、沼風、帆風▲

【函館】

大泊▲

【吳】

矢矧、韓崎▲比叡▲最上▲扶桑、伊勢、
衣笠、青葉、▽球磨

夕顔、葛

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲

呂二八▲伊五一、伊七一

石廊、隠戸▲室戸

(蒼龍)▲(千歲)▲

【大阪】

古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲(山雲)▲

▽伊七二▲伊七三▲

(熊野)▲(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【因島】▽薄▲藤▲

【江田内】平戸、淺間

【舞鶴】吾妻▲

▽白雲▲東雲▲叢雲▲薄雲▲

伊五二

(大潮)▲

【佐世保】

赤城▲加古▲長良、金剛、▽常磐、木曾▲

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲葦▲▽麥▲

菱▲蓬▲灘風、汐風、夕風

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六〇▲

呂六一▲呂六二▲呂六四、▽呂六三、

呂六八、▽呂六七、呂六五、呂六六

敷島▲間宮▲佐多、野島

(夏雲)▲(伊七四)▲

【富江】

▽電、▽響、雷

【長崎】

三隈▲

【馬公】

旗風、▽夕風、朝風

【基隆】

漣、狹霧

【高雄】

吳竹

【鎮海】

檜

【旅順】

泥

【大湊沖】

▽萩、菊

【上海】

▽出雲、▽安宅、八重山、熱海、比良、勢多、

鳥羽、土見、保津、堅田、嵯峨

蓮、栗、梅

海軍公報(部内限) 第二千七百三十八號

昭和十二年十月十二日

九八三

【福州沖】

龍田

【廈門港外】

松風

若竹

早苗

【サイパン】

膠州

【作業地】

- 長鯨、△神通、△由良、名取、鬼怒、
- △川内、△高雄、摩耶、△沖島、白鷹、△足柄、
- 羽黒、那智、△北上、駒橋、鳥海、△迅鯨、
- △妙高、勝力、龍驤、鳳翔、△加賀、多摩、
- △夕張、△能登呂、神威、△天龍、△五十鈴、
- △初雪、白雪、吹雪、△天霧、夕霧、朝霧、
- △望月、菊月、夕月、三日月、△夕立、村雨、
- 五月雨、春雨、△時雨、有明、白露、夕暮、
- △初霜、子日、若葉、初春、△疾風、追風、
- △綾波、浦波、磯波、敷波、△朧、曙、潮、
- △芙蓉、刈萱、朝顔、△曉、△陸月、卯月、
- △彌生、如月、△文月、長月、水無月、皐月、
- △葦、柿、春風、朝風、△朝潮、△島風、
- △伊一、伊二、伊三、△伊六、伊四、伊五、
- △伊六八、伊六九、伊七〇、△伊六一、
- 伊六二、伊六四、△伊六七、伊六六、
- 伊六五、△伊五九、伊六〇、伊六三、
- △鴻、隼、鶴、鴨、△雉、鷺、雁、鳩、△千鳥、
- △初雁、友鶴、真鶴、
- △掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、
- △掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、

【航海中】

掃一八
鳴戸、朝日、鶴見、襟裳

△磐手、八雲 (四日「バタバヤ」發—館山へ)

洲崎 (九日横須賀發—「サイパン」へ)

知床 (十日基隆發—佐世保へ)

△陸奥、長門、日向 (十一日佐世保發—宿毛へ)

△霧島、襟名 (十一日小濱發—宿毛へ)

駿島、大井、△山風、海風、江風、涼風 (十一日

橘灣發—宿毛へ)

春日 (十一日三津濱發—小豆島へ)

△呂三三、呂三四、△伊五三、伊五四、△伊五七、

伊五六、伊五八、△伊二二、伊二一、伊五五 (十

一日吳發—鹿兒島へ)

早鞆 (十二日佐世保發—基隆へ)

葵 (十二日塘沽發—旅順へ)

矢風、攝津 (十三日佐世保發—宿毛へ)

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千七百三十九號

海軍大臣官房

昭和十二年十月十三日(水)

○令 達

官房機密第三六五五號ノ四

本年官房機密第三六五五號臨時軍事費整理規程中左ノ
通改正ス

昭和十二年十月十三日

海 軍 大 臣

第二條第一號俸給中(六)ヲ左ノ如ク改ム

(六) 服役延期者タル士官、特務士官、下士官及兵ノ
俸給、在勤加俸、航海加俸、航空加俸並ニ特別加
俸

同條第三號雜給及雜費中(四)ヲ左ノ如ク改ム

(四) 服役延期者タル士官、特務士官、下士官及兵ノ
旅費、勞働手當、武裝手當並ニ外宿手當

同條第四號衣糧費中(三)ヲ左ノ如ク改ム

(三) 服役延期者タル士官、特務士官、下士官及兵ノ
食料並ニ被服費

海軍公報(部内限) 第二千七百三十九號

昭和十二年十月十三日

九八五

同條第六號患者費中ニ左ノ如ク加フ

(七) 服役延期者タル士官、特務士官、下士官及兵ニ
要スル療用品費、藥劑費、病室諸費、傳染病豫防
及消毒諸費、依託患者費並ニ雜費
(八) 被召集員ニ要スル療用品費、藥劑費、病室諸
費、傳染病豫防及消毒諸費、依託患者費並ニ雜費

附 則

本令ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

○通 牒

經豫第三號ノ三〇三

昭和十二年十月十三日

海軍省 經理 局長

關係各支出官
資金前渡官吏 殿

昭和十二年度滿洲事件費整理區分ニ
關スル件通牒

本年經豫第三號及四八昭和十二年度滿洲事件費整理區分中左ノ通改メラレ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行セラレ候

記

二イ俸給中(三)ヲ左ノ如ク改ム

(三) 削除

同ハ雜給及雜費中(六)及(八)ヲ左ノ如ク改ム

(六) 削除

(八) 削除

同ニ衣糧費中(四)ヲ左ノ如ク改ム

(四) 削除

同ハ患者費中(二)ヲ左ノ如ク改ム

(二) 削除

佐軍需機密兵第三〇二九號

昭和十二年九月二十五日

佐世保海軍軍需部長

各航空機搭載艦長
各航空隊司令殿
空輸機用裝備兵器ニ關スル件照會
當方面ヨリスル飛行機空輸ニ際シ無線通信兵器等裝備

ヲ必要トスル兵器ノ充當並ニ取扱ニ關シテハ當軍需部限リニテ事變中ニ限リ便宜左記ノ如ク取計フ可ク候御了知相成度

記

追テ航空關係無線兵器ハ移動極メテ激シク在庫ニ餘裕ナキヲ常態トスル現狀ニ候條多數機空輸ノ場合ハ當部在庫兵器ヨリ充當ヲ必要トスル數豫メ通報ヲ得度

記

成ル可ク各艦(隊)ノ兵器ヲ使用スルヲ建前トスルモ所要兵器ノ到着間ニ合ハザル場合ハ當軍需部在庫品ヲ充當シ置キ次ノ如ク處理ス

(イ) 既ニ毀損又ハ亡失セルモノニ對シテハ充當兵器ヲ代品トシテ其ノ儘供給ス

(ロ) 毀損又ハ亡失セル兵器ノ代品ナラザル場合ハ該空輸期間中ノ貸與ノ事トス但シ別個ノ同種完備品ヲ以テ還納差支ナシ

佐軍需機密兵第三〇二九號ノ二

昭和十二年九月二十五日

佐世保海軍軍需部會計官吏

各航空機搭載艦
各航空隊
兵備品取扱主任殿

空輸機用裝備兵器ニ關スル件照會

佐軍需機密兵第三〇二九號照會首題ノ件整理ニ關シテ
ハ左記ノ通處理相成度

記

一、(イ)ノ場合

(一)毀損品ハ修理請求ト共ニ現品ヲ佐工廠(最寄
工廠)へ送付シ還納票二通(三通)ヲ修理請
求セシ工應ト同一地ノ軍需部へ送付ノコト
(損品ハ某工廠へ送付シアル旨附箋ノコト)

(二)代品ニ對スル請求票、領收票ハ當部ニ送付ノ
コト(佐所管外ナル場合ハ請求票二通領收票
一通ヲ要ス)

(三)毀損亡失共ニ兵器經理規程第四十二條ニ依ル
供用(貸與)兵器毀損(亡失)報告ノコト

一、(ロ)ノ場合

無線兵器ハ特ニ在庫ニ餘裕ナキ狀況ニ付豫メ又
ハ空輸終了次第最近便ヲ以テ同數ノ完備品ヲ還
送ノコト

○雜款

○司令驅逐艦變更
第十四驅逐隊司令ハ昨十二日司令驅逐艦ヲ一時葵ヨリ
萩ニ變更セリ

○特務艦早靨行動豫定

地名	着	發
佐世保		十月十一日
基隆	十月十五日	十月十六日
馬公	十月十七日	十月十九日
德山	十月二十三日	十月二十四日
佐世保	十月二十五日	

○郵便物發送先

伊號第五十二潜水艦宛
十月十五日迄ニ到達見込ノモノハ
同 十七日迄ニ同 新 七 尾 濁
其ノ後ハ 同 新 舞 鶴

特務艦早靨宛

自今

佐世保郵便局留置

特務艦攝津宛

自今

聯合艦隊司令部ニ同ジ

海軍公報(部内限)第二千七百三十九號 昭和十二年十月十三日

九八七

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月十三日午前十時調

【横須賀】

對馬▲愛宕▲那珂▲阿武隈▲大鯨、▽山城
沖風▲峯風▲▽羽風、秋風

伊七▲呂五八▲

富士▲尻矢

(鈴谷)▲(劍崎)▲(高崎)▲

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲呂五九▲
伊二四、伊二三

【館山】

澤風▲

【塩釜】

太刀風

【大湊】

▽神風、野風、波風、沼風、帆風▲

【函館】

大泊▲

【吳】

矢矧、韓崎▲比叡▲最上▲扶桑、伊勢、
衣笠、青葉、▽球磨

夕顔、葛

呂五一▲呂五三▲呂二六▲呂二七▲
呂二八▲伊五一、伊七一

【大阪】

蒼龍▲(千歲)▲
古鷹▲

【神戸】

(滿潮)▲(山雲)▲
伊七二▲伊七三▲
(熊野)▲(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【因島】▽薄▲藤▲

【江田内】平戸、淺間

【宿毛】▽陸奥、長門、日向、▽霧島、榛名、嚴島、
大井

▽山風、海風、江風、涼風

【舞鶴】吾妻▲

▽白雲▲東雲▲叢雲▲薄雲▲

(大潮)▲

【佐世保】赤城▲加古▲長良、金剛、▽常磐、木曾▲

梨▲竹▲樞▲桃▲柳▲檜▲菫▲▽蓼▲

菱▲蓬▲灘風、汐風、夕風

呂三〇▲呂三一▲呂三二▲呂六〇▲
呂六一▲呂六二▲呂六四、▽呂六三、

呂六八、▽呂六七、呂六五、呂六六

敷島▲間宮▲佐多、野島、知床

(夏雲)▲(伊七四)▲

【富江】▽電、▽響、雷

【長崎】三隈▲

【馬公】旗風、▽夕風、朝風、長月、皐月

【基隆】漣、狹霧

【高雄】刈萱、追風

【旅順】葵

【塘沽】▽萩

【大沽沖】菊

【上海】▽出雲、▽安宅、八重山、熱海、比良、勢多、

海軍公報(部内限)第二千七百三十九號

昭和十二年十月十三日

九八九

【福州沖】

龍田

鳥羽、二見、保津、堅田、嵯峨、

【作業地】

長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、

川内、高雄、摩耶、沖島、白鷹、足柄、

羽黒、那智、北上、駒橋、鳥海、迅鯨、

妙高、勝力、龍驤、鳳翔、加賀、多摩、

夕張、能登呂、神威、天龍、五十鈴、

淀

初雪、白雪、吹雪、天霧、夕霧、朝霧、

望月、菊月、夕月、三日月、夕立、村雨、

五月雨、春雨、時雨、有明、白露、夕暮、

初霜、子日、若葉、初春、疾風、綾波、

浦波、磯波、敷波、臘、曙、潮、芙蓉、

朝顔、曉、睦月、卯月、彌生、如月、

交月、水無月、葦、楡、椿風、朝風、

朝潮、島風

伊一、伊二、伊三、伊六、伊四、伊五、

伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、

伊六五、伊五九、伊六〇、伊六三、

鴻、隼、鶴、鷗、鷲、鷺、雁、鳩、千鳥、

初雁、友鶴、真鶴

【航海中】

磐手、八雲 (四日「バタビヤ」發一館山)

洲崎 (九日横須賀發「サイパン」)

呂三三、呂三四、伊五三、伊五四、伊五七、

伊五六、伊五八、伊二二、伊二一、伊五五 (十

一日吳發一鹿兒島)

早鞆 (十一日佐世保發一基隆)

矢風、攝津 (十二日佐世保發一宿毛)

伊五二 (十二日舞鶴發一佐波)

膠州 (十二日「サイパン」發一「バガン」)

春日 (十三日小豆島發一横須賀)

掃一八
掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、

鳴戸、朝日、鶴見、襟裳、室戸

0335

海軍公報

(部内限) 第二千七百四十號

昭和十二年十月十四日(木)

海軍大臣官房

通牒

官房第五二二〇號

昭和十二年十月十四日

海軍次官

海軍省
官房
第五二二〇號

關係各廳長殿

市町村長ニ對スル戰死者等ノ死亡報告ニ
關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ左記甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答有
之候條該當戰死(死亡)者アリタルトキハ速ニ其ノ官
等等級氏名、死亡ノ年月日時、場所及死因(戰死、戰
死ト認定、何ニ因リ死亡等)ヲ士官及候補生ニ在リテ
ハ海軍省人事局長ニ、特務士官以下ニ在リテハ本人在
籍鎮守府ノ海軍人事部長(軍屬ニ在リテハ右ニ準ズ)
ニ電報相成度

首題ノ件ニ關シ左記甲號ノ照會ニ對シ乙號ノ通回答有
之候條該當戰死(死亡)者アリタルトキハ速ニ其ノ官
等等級氏名、死亡ノ年月日時、場所及死因(戰死、戰
死ト認定、何ニ因リ死亡等)ヲ士官及候補生ニ在リテ
ハ海軍省人事局長ニ、特務士官以下ニ在リテハ本人在
籍鎮守府ノ海軍人事部長(軍屬ニ在リテハ右ニ準ズ)
ニ電報相成度

記

(甲號)

海軍公報(部内限) 第二千七百四十號 昭和十二年十月十四日

九九一

海法第一五七號

昭和十二年十月五日

海軍省法務局長

司法省民事局長殿

市町村長ニ對スル戰死者等ノ死亡報告ニ
關スル件照會

戰死者(戰場ニ於テ死亡シタル者及戰場ヨリ附近病院
へ後送中死亡シタル者)戰地又ハ事變地ノ死亡者ニシ
テ死體ヲ發見セザルモ海軍官廳ガ戰死ト認定シタル者
其ノ他戰地又ハ事變地ニ於テ水難、火災等ノ事故ニ因
リ死亡シタル者アルトキハ其ノ取調ヲ爲シタル官廳ヨ
リ海軍省人事局長又ハ本人在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ對
シ電報ヲ以テ死亡又ハ死亡認定ノ事實ヲ通報シ海軍省
人事局長又ハ海軍人事部長ニ於テ戶籍法第百十九條ニ
準ジ市町村長ニ報告ヲ爲スコトト致度候處右ニ對スル
貴見承知致度

戰死者(戰場ニ於テ死亡シタル者及戰場ヨリ附近病院
へ後送中死亡シタル者)戰地又ハ事變地ノ死亡者ニシ
テ死體ヲ發見セザルモ海軍官廳ガ戰死ト認定シタル者
其ノ他戰地又ハ事變地ニ於テ水難、火災等ノ事故ニ因
リ死亡シタル者アルトキハ其ノ取調ヲ爲シタル官廳ヨ
リ海軍省人事局長又ハ本人在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ對
シ電報ヲ以テ死亡又ハ死亡認定ノ事實ヲ通報シ海軍省
人事局長又ハ海軍人事部長ニ於テ戶籍法第百十九條ニ
準ジ市町村長ニ報告ヲ爲スコトト致度候處右ニ對スル
貴見承知致度

(乙號)

(限 部)



司法省
民事局 民事甲第一三九九號

昭和十二年十月八日

司法省民事局長 大森 洪太

海軍省法務局長 潮見茂樹殿

戦死者等ノ死亡報告ニ關スル件

本月五日附海法第一五七號ヲ以テ御照會ノ標記ノ件ニ
關シテハ別紙ノ通牒致置候條右ニ依リ御了知相成度
此段及回答候也

(別紙)

司法省
民事局 民事甲第一三九九號

昭和十二年十月八日

司法省民事局長 大森 洪太

地方裁判所長(除東京刑事) 御中

戦死者等ノ死亡報告ニ關スル件

左ニ掲グル者ニ付當該取調ヲ爲シタル官廳ノ報告ニ基
キ海軍省人事局長又ハ海軍人事部長ヨリ戸籍法第一百
九條ノ規定ニ準ジ死亡報告アリタルトキハ之ヲ受理ス
ル様致度候條貴管下市町村長ニ對シ可然御通達相成度
此段及通牒候也

(中略)

記

- 一、海軍々人又ハ軍屬ノ戦死者(戰場ニ於テ死亡シ又ハ戰場ヨリ附近ノ病院ニ後送中死亡シタル者)
- 二、海軍々人又ハ軍屬ニシテ戦地又ハ事變ノ生ジタル地ニ於テ死亡シタル者ニシテ死體ヲ發見セザルモ海軍官廳ガ戦死ト確認シタルモノ
- 三、其ノ他海軍々人又ハ軍屬ニシテ戦地又ハ事變ノ生ジタル地ニ於テ水難、火災等ノ事故ニ因リ死亡シタルモノ

〔參照〕

戸籍法抄錄

- 第一百十六條 死亡ノ届出ハ届出義務者カ死亡ノ事實ヲ知リタル日ヨリ七日内ニ診斷書若クハ檢案書又ハ檢視調書ノ謄本ヲ添付シテ之ヲ爲スコトヲ要ス
- 届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス
 - 一 死亡者ノ氏名、本籍及ヒ職業
 - 二 死亡ノ年月日時及ヒ場所
 - 三 死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ戸主ト死亡者トノ續柄

第百十九條 水難、火災其他ノ事變ニ因リ死亡シタル者アル場合ニ於テハ其取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十條 (省略)
第百二十一條 前二條ノ報告書ニハ第百十六條第二項ニ掲ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

○ 雜 款

○ 旗艦變更
第三航空戰隊司令官ハ本月七日旗艦ヲ能登呂ニ變更セリ

○ 郵便物發送先
第九戰隊司令部、軍艦妙高、多摩宛
自今 澎湖郵便局氣付(軍事郵便)

第三航空戰隊司令部宛
當分ノ間 佐世保郵便局氣付 軍艦能登呂

○ 事務所移轉
軍艦熊野艦裝具事務所ヲ吳海軍工廠内ニ設置中ノ處十月九日之ヲ神戸海軍監督官事務所内ニ移轉ス

海軍公報(部内限) 第二千七百四十號 昭和十二年十月十四日

○艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○十月十四日午前十時調

【横須賀】

對馬△愛宕△那珂△阿武隈△大鯨△山城
沖風△峯風△羽風△秋風△澤風
伊七△呂五八△

富士△尻矢

(鈴谷)△(劍崎)△(高崎)△

【長浦】

呂五四△呂五五△呂五六△呂五七△呂五九△
伊二四△伊二三

【塩釜】

太刀風
△神風△野風△波風△沼風△帆風△

【函館】

大泊△
矢矧△韓崎△比叡△最上△扶桑△伊勢△
衣笠△青葉
夕顔△葛

【吳】

呂五一△呂五三△呂二六△呂二七△
呂二八△伊五一△伊七一
石廊△隱戸△

(琴龍)△(千歲)△

(茶龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

(琴龍)△(千歲)△

海軍公報(部内限) 第二千七百四十號 昭和十二年十月十四日

九九五

【江田内】 平戸、淺間

【小湊灣】

球磨
陸奥△長門△日向△霧島△榛名△五十鈴△
嚴島△大井

【宿毛】

山風△海風△江風△涼風△矢風
伊一△伊二△伊三△伊六△伊四△伊五△
攝津

【舞鶴】

吾妻△

【佐世保】

赤城△加古△長良△金剛△常磐△木曾△
梨△竹△樞△桃△柳△檜△蓮△
菱△蓬△島風△灘風△汐風△夕風△
呂三〇△呂三一△呂三二△呂六〇△
呂六一△呂六二△呂六四△呂六三△
呂六八△呂六七△呂六五△呂六六△
敷島△間宮△佐多△野島△知床
(夏雲)△(伊七四)△

【富江】

電△響△雷

【長崎】

三隈△

【鹿兒島】

呂三三△呂三四△伊五三△伊五四△
伊五七△伊五六△伊五八△伊二二△
伊二一△伊五五

【馬公】

夕風△朝風△長月△阜月

【基隆】

連

【高雄】 刈萱、追風

【鎮海】 葦

【旅順】 葵

【塘沽】 萩

【大沽沖】 菊

【上海】 口出雲、口安宅、八重山、熱海、比良、勢多、鳥羽、二見、保津、堅田、嵯峨

蓮、栗、梅

【福州沖】 龍田

【厦門港外】 松風

【若竹】

【作業地】 長鯨、口神通、口山良、名取、鬼怒、口川内、口高雄、慶耶、口沖島、白鷹、口足柄、羽黒、那智、口北上、駒橋、鳥海、口迅鯨、口妙高、勝力、龍驤、鳳翔、口加賀、多摩、口夕張、口能登呂、神威、口天龍、淀

口初雪、白雪、吹雪、口天霧、夕霧、朝霧、五月雨、春雨、口時雨、有明、白露、夕暮、口初霜、子日、若葉、初春、口疾風、口綾波、浦波、磯波、敷波、口隴、曙、潮、口芙蓉、朝顔、口曉、狹霧、口陸月、卯月、口彌生、如月、口文月、水無月、楡、柿、春風、朝風、口朝潮、早苗、吳竹

口伊六八、伊六九、伊七〇、口伊六一、

【航海中】

口磐手、八雲 (四日「バタビヤ」發—館山へ)

洲崎 (九日横須賀發—「サイパン」へ)

早鞆 (十一日佐世保發—基隆へ)

伊五二 (十二日舞鶴發—佐波へ)

春日 (十三日小豆島發—横須賀へ)

膠州 (十三日「パカン」發—横須賀へ)

旗風 (十四日厦門沖發—油頭沖へ)

伊六二、伊六四、口伊六七、伊六六、伊六五、口伊五九、伊六〇、伊六三、口鴻、隼、鶴、鴨、口雄、鷲、雁、鳩、口千鳥、初雁、友鶴、真鶴

口掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、

口掃一六、掃一四、掃二三、掃一五、掃一七、

掃一八、

鳴戸、朝日、鶴見、襟裳、室戸

(辭令公報添)

0340

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第二千七百四十一號

海軍大臣官房

昭和十二年十月十五日(金)

(本紙ト引換ノ上舊紙ハ適宜焼却相成度)

○令 達

官房第五二三四號

艦營需品定額表中數量左ノ通定ム

昭和十二年十月十五日

海 軍 大 臣

工作長主管金工之部

區別	類別	番號	品 名	數 量	記 事	艦 種	區 別	類 別	品 名	數 稱
						第一類	第五類	鐵付糊	瓦	
			工作長主管木工之部			一等 潜水艦	一			
						二等 潜水艦	一			

消耗品

一〇一

ワニス塗刷毛

本數量ハ本年達第八十二號
ニ依リ削除セルワニス塗筆
ノ數量ヲ現在ノ數量ニ合算
スルモノトス

○通 牒

軍務二機密第一三〇七號

昭和十二年十月十四日

海軍省軍務局長

各 廳 長 殿

參謀本部發行秘規則適用陸圖ノ件申進

首題ノ件昭和八年官房機密第四〇一號ニ依リ處理中ノ
トコロ自今材料品トシテ本年內令第六百九十九號及同
內令第七百號ニ依リ水路部ニ於テ掌理スルコトニ改メ
ラレ候條了知相成度

尙既配付ノモノニ付テハ水路部長ノ通牒ニ依リ處理
相成度

○雜 款

海軍公報(部内限)第二千七百四十一號 昭和十二年十月十五日

九九七

○郵便物發送先

聯合艦隊司令部、第一艦隊司令部、軍艦陸奥、長門、日向、第三戰隊司令部、軍艦霧島、榛名、大井、駿島、驅逐艦矢風、特務艦攝津宛

十月十八日迄ニ到達見込ノモノハ 高知縣宿毛

同 二十八日迄ニ 同 鹿兒島縣志布志

其ノ後ハ追テ通知ス

(電報ニハ「ハホ」ノ指定ヲ要セズ)

第十驅逐隊(曉、漣、狹霧)宛

自今

基隆郵便局氣付

○特務艦隱戸行動豫定削除(九月二十八日)

(本欄参照)

○郵便物發送先變更(九月二十八日)

(本欄参照)

特務艦隱戸宛

十月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ追テ通知ス

○練習生入校ノ件照會

來十一月五日入隊豫定ノ第四十一期操縱練習生採用豫定者ハ直接霞ヶ浦海軍航空隊友部分遣隊ニ入隊セシメラレ度

(霞ヶ浦海軍航空隊司令)

○艦船所在

指定要セズ

○十月十五日前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、那珂▲、阿武隈▲、大鯨、山城

春日

沖風▲、峯風▲、伊羽風、秋風、澤風

伊七▲、呂五八▲

富士▲、尻矢

(鈴谷)▲、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】 呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五九

伊二四、伊二三

【塩釜】 太刀風

【大湊】 神風、野風、波風、沼風、帆風

【函館】 大泊

【吳】 矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑、伊勢、

衣笠、青葉

夕顔、葛

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊七一

石廊、隠戸

(蒼龍)▲、(千歲)▲

【大阪】 古鷹▲

(滿潮)▲、(山雲)▲

【神戸】 伊七二▲、伊七三▲

(熊野)▲、(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【因島】 薄▲、藤▲

【江田内】 平戸、淺間

【小部灣】 球磨

【宿毛】 陸奥、長門、日向、霧島、榛名、

嚴島、大井

矢風

攝津

【舞鶴】 吾妻▲

伊白雲▲、東雲▲、叢雲▲、薄雲▲

伊五二

(大潮)▲

【佐世保】 赤城▲、加古▲、長良、金剛、常磐、木曾▲

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、董▲、蓼▲

菱▲、蓬▲、島風、夕風、夕風、朝潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂三三▲、呂三六▲

呂六一▲、呂六二▲、呂六三▲、呂六四▲、呂六五▲、呂六六▲

敷島▲、間宮▲、野島、知床

(夏雲)▲、(伊七四)▲

【富江】 響、雷

【長崎】 三隈▲

【馬公】 夕風、朝風、長月、阜月、春風

【基隆】 漣

【高雄】 追風

【鎮海】 葦

海軍公報(部内限) 第二千七百四十一號

昭和十二年十月十五日

九九九

【旅順】 葵

【塘沽】 萩

【大沽沖】 菊

【上海】 口出雲、口安宅、八重山、熱海、比良、勢多、

鳥羽、二見、保津、堅田、嵯峨、
逆、栗、梅

【福州沖】 龍田

【廈門港外】 松風

【汕頭港外】 旗風

【廣東河口】 芙蓉

【作業地】

長鯨、口神通、口由良、名取、鬼怒、

口川内、口高雄、摩耶、口沖島、白鷹、口足柄、

羽黒、那智、口北上、駒橋、鳥海、口迅鯨、

口妙高、勝力、龍驤、鳳翔、口加賀、多摩、

口夕張、口能登呂、神威、淀

口初雪、白雪、吹雪、口天霧、夕霧、朝霧、

口望月、菊月、夕月、三日月、口夕立、村雨、

五月雨、春雨、口時雨、有明、白露、夕暮、

口初霜、子日、若葉、初春、口疾風、口綾波、

浦波、磯波、敷波、口朧、曙、潮、朝顔、

口曉、狹霧、口陸月、卯月、口彌生、如月、

口文月、水無月、楡、柿、朝風、口若竹、

早苗、吳竹、灘風、口電

口伊六八、伊六九、伊七〇、口伊六一、

伊六二、伊六四、口伊六七、伊六六、

【航海中】

口磐手、八雲 (四日「バタビヤ」發—館山)

洲崎 (九日横須賀發—「サイパン」)

早鞆 (十二日佐世保發—基隆)

膠州 (十三日「バカン」發—横須賀)

口五十鈴、口山風、海風、江風、涼風、口伊一、伊三、

口伊六、伊四、伊五 (十四日宿毛發—佐世保)

口天龍 (十四日温州沖發—廈門)

口劉萱 (十四日高雄發—廣東河口)

口伊二 (十四日宿毛發—横須賀)

口呂三三、呂三四、口伊五三、伊五四、口伊五七、

伊五六、伊五八、口伊二二、伊二二、伊五五 (十

四日鹿兒島發—吳)

伊六五、口伊五九、伊六〇、伊六三、
口鴻、隼、鶴、鴨、口雉、鷺、雁、鳩、口千鳥、
初雁、友鶴、真鶴
口掃一六、掃一五、掃一、掃三、掃四、掃二、
口掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、
掃一八
鳴戸、朝日、鶴見、襟裳、室戸、佐多

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千七百四十二號

昭和十二年十月十六日(土)

海軍大臣官房



○ 辭 令

滿洲國へ出張ヲ命ス(付前海軍省) 技 生 遠 矢 藤 作

○ 雜 款

○ 旗艦變更
練習艦隊司令官ハ九月八日旗艦ヲ磐手ヨリ八雲ニ、第五戰隊司令官ハ昨十五日足柄ヨリ羽黒ニ孰モ變更セリ

○ 郵便物發送先
第一潜水戰隊司令部、軍艦五十鈴、第八潜水隊、第七潜水隊(伊號第二潜水艦缺)宛
十月二十日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 世 保 共ノ後ハ 第一艦隊司令部ニ同シ
伊號第二潜水艦宛
當分ノ間 横 須 賀
第十六驅逐隊司令部及各艦宛

自 今

高 雄 通 信 隊 留 置

○ 第五水雷戰隊各艦宛ノ圖書、兵器等ヲ第五水雷戰隊司令部ニ一括送付(托送)セラルル向アルモ當隊ハ集合ノ機會殆ド無キニ付爾後ハ各艦宛直接送付(托送)セラルル様取計ハレ度
(第五水雷戰隊司令部)

三 海軍航空秘法規類集中正誤

第二回改正挿替紙索引中二頁下段六行目

「九三一九四ノ二」ハ「九三一九四ノ二」ノ、

本文中「九四ノ二頁」ハ「九二ノ二頁」ノ、「一八八ノ二頁」ハ「一八九頁」ノ孰モ誤

海軍公報(部内限) 第二千七百四十二號

昭和十二年十月十六日

一〇〇一

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○十月十六日午前十時調

【横須賀】

對馬△愛宕△那珂△阿武隈△大鯨△山城

春日

沖風△峯風△伊羽風△秋風

伊七△呂五八△伊二

富士△尻矢

(鈴谷)△(劍崎)△(高崎)△

【長浦】

太刀風

呂五四△呂五五△呂五六△呂五七△呂五九△

伊二四△伊二三

【大湊】

神風△野風△波風△沼風△帆風△

【函館】

大泊△

【吳】

矢矧△韓崎△比叡△最上△扶桑△伊勢△

衣笠△青葉△球磨

夕顔△葛

呂五一△呂五三△呂二六△呂二七△

呂二八△伊五一△伊七一△呂三三△

呂三四△伊五三△伊五四△伊五七△

伊五六△伊五八△伊二二△伊二一△

伊五五

石廊△隱戸△

(蒼龍)△(千歲)△

【大阪】

古鷹△

【神戶】

(滿潮)△(山雲)△
伊七二△伊七三△

【因島】

(熊野)△(荒潮)△(伊八)△(伊七五)△
薄△藤△

【江田内】

平戸△淺間

【宿毛】

陸奥△長門△日向△霧島△榛名△大井

【宿毛】

矢風

【舞鶴】

攝津

【舞鶴】

吾妻△

【舞鶴】

白雲△東雲△叢雲△薄雲△

【新瀉】

(大潮)△

【佐世保】

伊五二
赤城△加古△長良△金剛△常磐△木曾△

【佐世保】

五十鈴

【佐世保】

梨△竹△榎△桃△柳△檜△菫△蓼△

【佐世保】

菱△蓬△島風△汐風△夕風△山風△

【佐世保】

海風△江風△涼風△電

【佐世保】

呂三〇△呂三一△呂三二△呂六〇△

【佐世保】

呂六一△呂六二△呂六四△呂六三△

【佐世保】

呂六八△伊一△伊三△伊六△伊四△伊五

【佐世保】

敷島△間宮△野島△知床

【佐世保】

(夏雲)△(伊七四)△

【富江】

響△雷

【長崎】

三隈△

【馬公】

夕張

海軍公報(部内限) 第二千七百四十二號

昭和十二年十月十六日

一〇〇三

【基隆】

夕風、朝風、長月、臯月、春風

【鎮海】

早稻、柿

【塘沽】

萩、菊

【大沽沖】

出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、鳥羽、二見、保津、堅田、嵯峨

蓮、栗、梅

【福州沖】

龍田

【厦門港外】

松風

【汕頭港外】

旗風

【廣東河口】

芙蓉

【サイパン】

洲崎

【作業地】

長鯨、神通、由良、名取、鬼怒、川内、高雄、摩耶、沖島、白鷹、足柄、羽黒、那智、北上、駒橋、鳥海、迅鯨、妙高、勝力、龍驤、鳳翔、加賀、多摩、能登呂、神威、淀、天龍

初雪、白雪、吹雪、天霧、夕霧、朝霧、望月、菊月、夕月、三月月、夕立、村雨、五月雨、春雨、時雨、有明、白露、夕暮、初霜、子日、若葉、初春、疾風、追風、綾波、浦波、磯波、敷波、臘、曙、潮、朝顔、曉、狹霧、睦月、卯月、彌生、如月

【航海中】

磐手、八雲 (四日「バタバヤ」發—館山へ)

膠州 (十三日「バカン」發—横須賀へ)

殿島 (十五日宿毛發—佐世保へ)

朝潮 (十六日佐世保發—富江へ)

澤風 (十六日下田發—館山へ)

文月、水無月、楡、朝風、若竹、早苗、吳竹、灘風、葵、刈萱、伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、伊六五、伊五九、伊六〇、伊六三、伊六七、呂六五、呂六六、呂六七、鴻、隼、鶴、鴨、雌、鷺、雁、鳩、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、掃六、掃五、掃二、掃三、掃四、掃二、掃一六、掃一四、掃二三、掃一五、掃一七、掃一八、鳴戸、朝日、鶴見、襟裳、室戸、佐多

(辭令公報添)

海軍公報

(部内限) 第二千七百四十三號

昭和十二年十月十八日(月)

海軍大臣官房

○通牒

官房第五二八七號

昭和十二年十月十八日

海軍省副官

各廳長殿

軍事郵便ニ關スル件通牒

十月五日附官房第四〇六九號ニ依ル首題ノ件中左記ノ
通改メラレ候條了知相成度

記

第二號中「澎湖郵便局」ヲ「基隆郵便局」ニ改メ、同
號末尾ニ左ノ一項ヲ加フ

北支方面派遣艦船部隊宛郵便物ハ佐世保郵便局ニ於
テ第三海軍軍用郵便所ニテ交付シ得ラルルコト確實
ト認ムルモノニ限リ同所宛トシ其ノ他ノモノハ旅順
郵便局宛トスルコト

(十月五日海軍公報(部内限)本欄参照)

經契第三號ノ一四六二

昭和十二年十月一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

銑鐵購買合併契約ノ件通牒

昭和十二年度下半年分銑鐵ニ關シ左記ノ通日本製鐵株
式會社ト契約締結致候條左ニ依リ處理相成度

記

契約書

海軍省經理局長村上春一(以下甲ト稱ス)ハ各海軍工
作應ニ於テ使用スル銑鐵(以下本品ト稱ス)ニ就キ昭
和十三年三月末日迄ニ注文スルモノノ供給ニ關シ日本
製鐵株式會社取締役社長中井勵作(以下乙ト稱ス)ト
契約スルコト左ノ如シ

第一條 本品ノ價格ハ左ノ通トシ甲又ハ甲ノ指定スル
モノ(以下註文者ト稱ス)ニ供給スルモノトス

普通銑鐵(三號)一匁ニ付金八拾壹圓也トシ一號銑

海軍公報(部内限) 第二千七百四十三號 昭和十二年十月十八日

一〇〇五

鐵ニ對シテハ本價格ノ貳圓増、二號銑鐵ハ壹圓増トス

但シ本品價格ハ官ノ指定スル納入地迄ノ荷造、運賃及納入ニ要スル一切ノ費用ヲ含ムモノトス

第二條 本品ハ官ノ指定スル規格ニ合格セルモノナルヲ要ス

第三條 甲又ハ甲ノ指定スル者本品ノ供給ヲ受ケントスルトキハ品名、規格、數量、納期、納入場所其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル註文書ヲ乙ニ送付スルモノトス

第四條 乙ハ前條註文書ヲ受ケタルトキハ之ト同一書式ニ依リ購買番號、單價、代價其ノ他必要ナル事項ヲ記載セル承諾書ヲ註文者ニ提出スルモノトス

第五條 本品納入地ニ到達シタルトキハ受領者ハ必要ト認ムル検査ヲ行ヒ之ガ引渡ヲ受クルモノトス

第六條 本品引渡後一ケ年以内ニ有害ナリト認ムル瑕疵ヲ發見セラレタルトキハ乙ハ更ニ指定期日內ニ無償ニテ之ガ引換ヲ爲スモノトス

第七條 乙ハ本品ノ納入ヲ終リタルトキハ内譯明細書ヲ附シタル代金請求書ヲ註文者ニ提出スルモノトス

分割納入ノ場合ニアリテハ前項ニ準ジ請求書ヲ提出スルコトヲ得

第八條 官ニ納入シタル本品代價ニ對シテハ前條ニ依リ代金請求書受理後十五日以内ニ當該支出官ニ於テ支拂フモノトス

但シ海軍契約規程第六條ニ依ル減少金ハ之ヲ免除スルモノトス

第九條 乙ハ當該支出官ノ承諾ヲ受クルニ非ザレバ本契約ニ因リテ生ズル官ニ對スル債權ヲ第三者ニ讓渡スルコトヲ得ザルモノトス

第十條 乙ハ本契約ニ關シテハ軍事上ノ秘密ヲ嚴守スルノ義務アルモノトス

第十一條 本契約ニ明揭ノ外ハ大正十一年四月海軍省令第十一號海軍契約規程並海軍契約規程施行手續及海軍艦政本部ト日本製鐵株式會社トノ間ニ協定セル海軍用銑鐵需給要項(昭和十二年四月協定)ニ依ルモノトス

右契約ノ確實ヲ證スル爲本書試通ヲ作り雙方記名調印シテ各自其ノ壹通ヲ保有スルモノトス

昭和拾貳年拾月壹日

海軍省經理局長 村上 春二

東京市麴町區丸ノ内貳丁目貳拾番地壹
日本製鐵株式會社
取締役社長 中井 勵作

艦本機密第一七五四〇號

昭和十二年十月十八日

海軍艦政本部長

關係各廳長殿

支那事變中艦船諸公試實施方法ノ適用ニ

關スル件通知

本年官房機密第四二八一號ニ依ル支那事變中艦船諸公
試ノ實施方法ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ適用致
候

○ 辭 令

海軍主計少佐 福田 萬作

海軍用語調査委員會委員ヲ命ス

軍需品平時生産協定中央委員會委員(幹事)ヲ命ス

(附註)海軍省)

(各通)

海軍中佐 堀内 茂忠
同 山本 善雄

第一課勤務ヲ命ス

海軍機關少佐 奥田 増藏

第三課勤務ヲ命ス(以上附註海軍省軍務局)

海軍少佐 小西 康雄

教育部勤務ヲ命ス(附註海軍航空本部)

○ 雜 款

○特務艦佐多行動豫定

地名 着

佐世保 十月十七日 發

佐世保 十月十七日 二十五日

佐世保 二十八日

○郵便物發送先

軍艦嚴島宛

十月十九日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保

其ノ後ハ 佐世保郵便局氣付

軍艦淀宛

自今 佐世保郵便局氣付

海軍公報(部内限)第二千七百四十三號 昭和十二年十月十八日

一〇〇七

○艦船所在

▲印ハハハホホ
指定ヲ要セズ

○十月十八日午前十時調

【横須賀】 對馬▲愛宕▲那珂▲阿武隈▲大鯨▶山城

春日

沖風▲峯風▲▽羽風、秋風

伊七▲呂五八▲伊二

富士▲尻矢

(鈴谷)▲(劍埼)▲(高崎)▲

【長浦】

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七▲呂五九▲

▽伊二四、伊二三

【館山】

澤風▲

【大湊】▽神風、野風、波風、沼風、帆風▲

【函館】 大泊▲

【吳】 矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑、伊勢、

衣笠、青葉、▶球磨

夕顔、葛

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊七一、▽呂三三、

呂三四、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、

伊五六、伊五八、▽伊二二、伊二一、

伊五五

石廊、隠戸▲

(蒼龍)▲(千歲)▲

【大阪】 古鷹▲

(滿潮)▲(山雲)▲

【神戸】▽伊七二▲、伊七三▲

(熊野)▲(荒潮)▲(伊八)▲(伊七五)▲

【因島】▽薄▲、藤▲

【江田内】 平戸、淺間

【宿毛】▽陸奥、長門、日向、▶霧島、榛名、大井

【佐伯】 攝津

【舞鶴】 吾妻▲

▽白雲▲東雲▲叢雲▲薄雲▲

(大湖)▲

【七尾】 伊五二

【佐世保】 赤城▲加古▲長良、▶金剛、▶常磐、木曾▲

▶五十鈴、嚴島、足柄

梨▲竹▲榎▲桃▲柳▲檜▲薑▲▽伊六三、

菱▲蓬▲▽島風、汐風、夕風、▽山風、

海風、江風、涼風、▶電(雷)、吹雪、朝潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲、

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六三、

呂六八、▽伊五九、伊六三、▽呂六七、

呂六五、呂六六、▽伊一、伊三、▽伊六、

伊四、伊五

敷島▲間宮▲知床、鶴見

(夏雲)▲(伊七四)▲

【富江】響

【長崎】三隈▲

【馬公】夕張

【基隆】龍田 夕風、朝風、長月、阜月

【鎮海】葦、柿

【作業地】出雲、安宅、八重山、熱海、比良、勢多、

鳥羽、二見、保津、堅田、嵯峨、長鯨、

神通、由良、名取、鬼怒、川内、高雄、

摩耶、鳥海、沖島、白鷹、羽黒、那智、

北上、駒橋、迅鯨、妙高、勝力、龍驤、

鳳翔、加賀、多摩、能登呂、神威、淀、

天龍

逆、栗、梅、萩、菊、葵、初雪、白雪、

天霧、夕霧、朝霧、望月、菊月、夕月、

三日月、夕立、村雨、五月雨、春雨、

時雨、有明、白露、夕暮、初霜、子日、

若葉、初春、疾風、追風、綾波、浦波、

磯波、敷波、朧、曙、潮、曉、狹霧、

陸月、卯月、彌生、如月、文月、水無月、

榆、松風、朝風、春風、旗風、若竹、

早苗、吳竹、灘風、芙蓉、朝顔、刈萱、

伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊六七、伊六六、

【航海中】

磐手、八雲(四日)「バクビヤ」發一館山へ)

膠州(十三日)「バカン」發一横須賀へ)

洲崎(十七日)「サイパン」發一「トラック」へ)

早瀬(十八日)基隆發一馬公へ)

伊六五、伊六〇

鴻、集、鶴、鴨、雉、鷺、雁、鳩、千鳥、

初雁、友鶴、真鶴

掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、

掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃二七、

掃一八

鳴戸、朝日、襟裳、室戸、佐多、野島

(辭令公報添)